

1970. Can. J. Bot., 48: 1815-1825.

Explanation of Plate II

Figs. 3, 4. *Leuconeurospora pulcherrima* 3. Peridial plates. 4. Ascospores.
Figs. 5-8. *L. elongata* 5. Elongate cleistothecium. 6. Globose asci.
7. A portion of cleistothecial peridium, showing cephalothecoid-like
arrangement. 8. Ascospores. (scales: 3, 5, 7=100 μ ; 4, 6, 8=10 μ)

* * * *

Leuconeurospora 属は 1 属 1 種, *L. pulcherrima* をタイプ種として 1970 年創設された。Malloch, Cain はこれを新しく提案した *Pseudeurotiaceae* 科に含めている。*L. pulcherrima* は盾板状に裂ける子のう果中に球形の子のうを散在形成し、成熟と共に白色菱形状の子のう胞子を分散する。胞子表面には数本の脈状隆起がみられる。本種は今までドイツ、デンマーク、カナダから知られていたが、著者らは日高山脈で採集されたリスの糞から発見した。次いで、*L. pulcherrima* の子のう胞子に極めて類似する未記載の *Leuconeurospora* 1 種を鹿児島市内磯公園で採集したトカラ山羊の糞から見つけた。これを *L. elongata* として記載した。この新種は楕円状に伸びた子のう果、赤褐色の子のう胞子を形成する特徴がある。子のう果壁の状態も *L. pulcherrima* ほど割れ目が明瞭でない。*L. elongata* の子のう胞子塊が赤褐色を呈し、子のうが子のう果中に不規則に散在する性質からみて *Leuconeurospora* の分類学的位置は *Microascaceae* 科に関係あるものと推察される。両種とも培養不成功のため正確な結論は将来の問題として残されよう。

□結城嘉美：山形県の植物誌 A5 版, 14 種を含むカラーの絵 2, 白黒写真 72, 大判地図 1, 本文索引共 462 頁, その内植物目録 262 頁。山形県立博物館発行, 1972 年 3 月 21 日。会員のみで頒布する改定版。結城氏の多年にわたる成果であって、総説として県の地形, 気候, 区系, 植生, 高山の分布, 天然記念物, 方言などに区分され, 附録として大形地形図がつけてある。従来断片的に知られていた同地方の植物分布が明らかになり, ことに秘境視されていた高山地帯のものが明瞭になり極めて有益である。なお同地と本書に関係のある佐藤正己博士の「発刊を祝して」なる一文から, 本書の出来るまでの様子がうかがわれる。ついでながら, この種の刊行物は多くの人が参考にするものであるから, 一定の実費で広く行きわたるようにされたい。(久内清孝)